

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【小規模多機能花うさぎ】

令和6年度

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年3月14日 (16:00~17:30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	千葉 吉田 神谷 猪狩 高木 鯨岡 鈴木 (直) 西郡 大和田 山崎 小松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	4人	4人	11人

前回の改善計画	・課題と目標、利用者、家族が求めていることについて職員間で協議し、不参加者は情報収集を行い確認のサインを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・アセスメントやケアプランを事前に回覧し、ミーティングや月次のケア会議にて担当者会議を実施する事ができました。不参加者に関しては議事録で確信し不明な点は確認することを徹底しています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		11			11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		10	1		11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?		11			11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		11			11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日々の関わりの中で把握した情報は文書やPCを利用して記録し職員同士で共有しています。 ケアの疑問点は都度本人、家族、ケアマネに確認しながら支援しています。 ・ケアマネを中心に利用前に事前訪問を行い、本人の状態や人柄の把握、家族の不安点などについて把握し、寄り添いながら支援しています。 ・全利用者のモニタリング用紙を作成し、利用時の様子やプランの進捗状況の報告を行っています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ケアプランの内容については共有できているが、24時間の生活様子の把握やアセスメント情報についての職員間での話し合いが十分に行えていないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・会議等で生活の流れやこだわり、ケアのポイントまで共有を図り新しく知り得た情報は追記し、不参加者には申し送りをします。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年3月14日 (16:00~17:30)
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	千葉 吉田 神谷 猪狩 高木 鯨岡 鈴木 (直) 西郡 大和田 山崎 小松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	3人	人	11人

前回の改善計画	・意欲があまりない利用者や思いの訴えの少ない利用者の潜在的な思いの把握は、以前の生活背景の再確認や日々のコミュニケーションやスキンシップの中での反応を観察して、職員間で協議し、利用者の「～したい」を明確にしていくプランに反映する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者本人の「～した」はなかなか解りづらい事もありますが、日々利用者様と話をする中で、当面の目標を把握できるよう努めている。また、なかなか引き出せない時には家族や介護者の意見も聴く様にしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		5	4	2	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		8	3		11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		11			11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		11			11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・事前訪問でご本人や家族から「～したい」ことや思いの聞き取りを行い、その内容をミーティングや職場会議で共有を行っています。 ・ケアプランの支援内容と目標を一覧化し、プランに沿った支援や記録が行える体制をとっています。 ・意欲や訴えがない方に対しては日々の関わりの中で知り得た情報をアセスメント表に反映した内容から「～したい」ことをくみとり、実現に向けて活動計画を行っています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・事前訪問や日々の関わりで知り得た情報を元に利用者の「～したい」の把握に努めていますが、意欲や訴えが少ない方に対しては「～したい」の把握や行き届いた支援が不十分な場合があります。その結果に対しての振り返りや次の取組についての協議が行えていないことがあります。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・「～したい」の把握が不十分な方には、再アセスメントを行い、新たな情報から支援内容を職員全体で検討し、実践していきます。不参加者には申し送りを行います。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年3月14日 (16:00~17:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 千葉 吉田 神谷 猪狩 高木 鯨岡
鈴木(直) 西郡 大和田 佐々木 小松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	10人	1人	人	11人

前回の改善計画	・知り得た情報の中から思い出を感じるような活動計画を定期的に行い、利用者の笑顔や意欲の向上に繋げていく。(本人だけでなく、家族からも「以前の暮らし方」について情報収集する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・通いに来られても一人で座ってテレビを観て、他者との関わりが少ない方に対して本人の興味を引く事ができないかと考え、送迎時に家族から事業所で様子を伝え、本人が興味を示しそうなものや好きな事について聞き取りをした結果、絵画を描いたり、小説を読んだりする事が好きとのことで、小説を買いに一緒に出かけたり、事業所で絵画を描いたりするなど、作業を提供することにつながっています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		8	3		11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	10	1			11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	10	1			11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	4			11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	6			11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用前にケアマネと職員1人が事前訪問で生活環境の把握を行い、内容をミーティングや職場会議で共有を行っています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・決まった支援内容だけでなく、突発的に起こる本人の気持ちの変化や思いなどに対して柔軟な対応を行う事が日によって十分でないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・突発的に起こる利用者の声に対して気づいた点は積極的にケアマネ、主任に報告してプランへ具体化していきます。職員課での申し送りも行っていきます。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年3月14日 (16:00~17:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 千葉 吉田 神谷 猪狩 高木 鯨岡
鈴木(直) 西郡 大和田 高塚 小松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	3人	人	11人

前回の改善計画	・介護が必要になってできなくなった地域での活動を差異化してやりがいや生きがいを持ってもらうために、利用者と地域での関わりについて調べる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・外出頻度が減ったことで趣味ができなくなった方に対して、他事業所で同じ趣味をもった方との趣味活動交流の時間を提供することができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		8	3		11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	4	6		11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	7		11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			11		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・関わりのあった地域の方についての情報を把握しています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者の中には支援以外の時間の過ごし方について十分に把握できていない方もいるため、本人の生活スタイルや人間関係を考慮した支援に繋がられていない事があります。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・理世須屋の生活スタイルに応じた支援を行うため、再アセスメントを行い、事業所が関わっていない時間での生活上の課題を見つけて必要な支援に繋がっていきます。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年3月14日（16:00～17:30）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	千葉 吉田 神谷 猪狩 高木 鯨岡 鈴木（直） 西郡 大和田 佐々木 高塚

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	11人	人	人	11人

前回の改善計画	・職場内で勉強会を行い、介護経験に関係なく利用者の声にならない思いを引き出し、プランに反映していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・活動に意欲的でない利用者に訪問時の関わりの中から利用者の気持ちを組み取り、それを事業所で共有し、事業所でのイベント参加に繋げることができました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		6	5		11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	8	3			11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	5	6			11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	5	6			11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者・家族の心身状態に合わせて宿泊などの声かけを行い、回数調整など柔軟な対応が行えています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・日々の関わりから利用者の状態の把握や記録は行っていますが、職員同士の話し合いや対応職員からの柔軟な支援の提案が不十分なことがあります。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者との日々の関わりや変化について、記録する協議事項を明確に区別していき、必要に応じてアセスメントへ追記し、プランの具体化に繋げていきます。	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	2人	人	11人

前回の改善計画	・利用者に関して地域包括センターと連携して情報共有を図り、スムーズな利用開始に繋げていく。 ・利用者の思いを聞き取り、地域で開催されているイベント等に参加し、地域との繋がりを確保していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・当事業所で開催されている行事に利用者も参加していただき、地域との交流の機会を提供する事ができました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		1	8	2	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?			1	10	11
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?			1	10	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		1	2	8	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の定期受診や他事業所とのサービス手案当社会議に職員、ケアマネが参加して情報共有ができています。 ・地域行事への参加や、学生の職場見学・体験の受け入れを通して、地域と事業所の繋がりを落としています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者の地域毎のイベントの情報収集に課題があります。徐々に地域イベントが再開されていますが、コロナウイルス流行が長期化したことで地域内での繋がりが薄れていると実感しています。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者の参加したいイベントには継続して参加できるよう支援を行い、新たに利用者の地域の行事についても家族や地域の方から情報収集を行い支援に繋げていきます。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年3月14日 (16:00~17:30)

7. 運営

メンバー 千葉 吉田 神谷 猪狩 高木 鯨岡
鈴木(直) 西郡 大和田 高塚 佐々木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	人	人	11人

前回の改善計画	- 今後も利用者・家族・地域の方から意見を伺いながら、利用者に必要なサービスを提供していく。 - サービス担当者会議を通じた事例検討で意見交換を行い、意見の中から業務改善を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者の個別支援内容の具体化に向けて月次で出し合い、利用者と関わる時間の確保のための職員同士の声かけや協力体制の強化を図ることができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		3	8		11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		8	3		11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		8	3		11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2	7	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 毎月の職場会議で重点課題や取り組み内容の振り返りを行い、次の目標を設定し、事業所全体で取り組みを進めています。 - 事業所の活動状況やイベント情報を発信して地域に根付いた事業所に向けて取り組んでいます。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事業所のありたい姿、大切にしたい価値に基づいた業務執行に職員間での差が出ています。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
優れた運営に向け、理念や価値、目標と現実の差から課題を明確にし、職場会議や委員会活動にて質の向上をさせていきます。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年3月14日 (16:00~17:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 千葉 吉田 神谷 猪狩 高木 鯨岡
鈴木(直) 西郡 大和田 高塚 佐々木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	2人	人	11人

前回の改善計画	・初回の担当者会議の時に意見が出た日常生活や利用者、家族が求めている課題に対して、利用中に生活リハビリ(おじぎ体操、立ち上がり運動など)を実践し、課題解決に取り組んでいきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者からの意見を基に利用者との食事作りや他事業所の利用者との交流を行い、楽しみや生きがい、自信を持ってもらえる取り組みを行っています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	8	2		11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4	4	1	11
③	地域連絡会に参加していますか			2	9	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	4	3	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・運営推進会議を開催し、会議には利用者、家族、職員が参加し情報共有を図っています。 ・利用者の残存機能を活用できるように状態に応じた介助方法の習得や環境整備、余暇活動の充実化を進めることができています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・取り組みによってはうまくできず成果を生み出せていない事例もあり、職員のスキルアップに繋げる事ができていないことがあります。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・成果を生み出すためにPDCAサイクルの志津を見直します。具体的に応じた学びの場や、外部研修への参加がしやすい職場環境勤務調整をしていきます。	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	人	人	11人

前回の改善計画	・定期的に虐待防止委員会を設置し開催し、利用者へのプライバシーの配慮などの職員全体での意識付けを促していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・「虐待の芽チェックリスト」の結果を職場会議で振り返り、不適切ケアの予防に取り組んでいます。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11				11
②	虐待は行われていない	11				11
③	プライバシーが守られている	8	3			11
④	必要な方に成年後見制度を活用している			11		11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	4			11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・行動指針に基づく個人目標設定や職場会議での利用者支援に対する協議の時間を確保し、自身のケア内容の振り返りを行う機会を作っている。 ・他の職員が気づいた点については適宜、主任などに報告し対応しています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者に関する情報が、不特定多数が行き来する場所に置いてあることがあります。 ・何度も立ち上がる方に対して安全面を優先した声かけとなっており、行動の理由を聞く声かけが不足していることがあります。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者情報に関して回覧などする際は置き場所を決めてプライバシーに配慮していきます。 ・利用者に関する話し合いを行う際はイニシャルなどで呼び、個人が特定されないような配慮を行います。	

令和6年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 ケアネット・どばし	代表者	上橋 信臣	法人・ 事業所 の特徴	・可能な限り、ご利用者様のご要望に応じ、ご利用時間の調整を致します。 ・全職員が利用者一人一人の特性を把握し個人の思いや希望を叶えるよう努力します。 ・地域の中で安心して快適な住宅生活ができるよう地域の力を繋ぎ結びつけ地域の人と共に支えます。
事業所名	小規模多機能 花うさぎ	管理者	上橋 信臣		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	3人	2人	人	人	5人	人	11人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	・全スタッフと情報共有が図れるよう、伝達する担当（リーダー）を決め、伝達を密に行う。 ・日々のミーティングで利用者様のささいな事であっても情報を共有したり、気づきを共有できるようにしていく。 ・非常勤職員にもスキルアップにつながるよう研修機会を設ける。	・スタッフ間で情報共有しながら支援を行っているが、日常の業務に追われてしまい、時間をかけた関わり方ができていなかった。 ・その都度利用者様と向き合っているが、関わりが不十分だった。 ・研修の機会も増えており、ケアマネへの報告・相談を密に行いスタッフ全員で情報共有し、意見を出し合っている。	それぞれの目標を作り達成に向けて取り組んでいると思います。	・ミーティングの機会を作り、情報共有は行っていくが、対利用者、対職員に対してのコミュニケーションの取り方を常に意識していく。 ・ケア会議では、日々の支援見直しは引続き行っていくが、短期目標の達成度や、サービス内容の見直しも内容に組み入れ、利用者様の望む支援に向けて評価を行い、実行に結びつけられるようにしていく。 ・個人のスキルアップのための研修会への参加や定期的な勉強会を実施し、質の向上を図る。
B. 事業所の しつらえ・環境	室内外の環境整備に努め、利用者様が快適に過ごしていただける様環境を整える。	空調による温度管理や加湿器によるカッなど取り組んでいる。感染予防に努め、明るく、清潔感のある環境となるよう、事業所内の管理に努めている。	玄関も明るくなり、室内の温度管理も快適にされていると思います。	温度の管理や環境整備に努め、利用者様が快適に過ごしていただける環境を整える。感染予防にもなお一層、注意を払っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	非常勤職員も連絡会等に参加し、行政や地域資源等の理解を深める。	地域資源の理解や活用には至っていない部分がある。自分たちでサービスを行うことなく、地域のサービスを導入できるよう対応していく。	感染対策で地域の行事やイベント等開催できていない現状です。少しずつ復活しているので、楽しんで欲しいと思います。	・利用者様それぞれの地域とのつながりを把握できるようにし、地域資源の理解を深め活用につなげていく。 ・少しずつ、コロナ前の状況に戻る

				れるよう、感染対策を行いながら、地域の行事や活動に参加ができるようにしていく。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	利用者を取り巻く環境の把握に努め、情報共有を密に行う。浮かび上がった課題等を会議で共有・検討し、必要に応じて関係機関に繋げていく。	地域や家族・知人との関わりが継続できるように支援している。特に心気の利用者様を取り巻く環境を把握できるよう情報収集に努めた。	コロナも落ち着いてきているので、どんどん外に出てイベント等に参加して欲しい。	・引続き、送迎、訪問時など職員から地域の方に関わり、情報を得て、共有をしていく。 ・地域との関係性が保たれている利用者に関しては、関係が切れないように、サービス内容に組み込んでいき、統一した支援ができるようにしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議での内容や、利用者や家族、地域からの要望等を職員に周知し、職員全員が地域の困りごとに気づき一緒に考え、地域に開かれた運営ができるようにしていく。	利用者様やご家族様の要望をできる限り受け止め、よりよい支援になるよう検討し、支援に繋げている。 地域に根付いた活動は、コロナ禍のためあまり行えていなかった。	第三者の立場の人々の意見を聴取することは重要と考えます。今後も継続し一緒に考えて行きたいと思う。	利用者や家族からの要望については、誠実に向き合い、サービスの質の向上に繋げていく。 ・運営推進会議での情報は職員全体で共有し、地域での困りごとにも目を向ける事ができるようにしていく。
F. 事業所の 防災・災害対策	有事の際の速やかな避難誘導、連携が図れるよう取組を行う。	事業所内の避難訓練を実施。地域の方々に福祉避難所として開放できるように努めていきたい。	定期的な訓練実施と、防災など、地域との関わりのある活動について、包括センターも協力して取り組んでいきたい。	・有事の際の速やかな避難誘導・連携が図れるよう取組を行う。 ・福祉施設の役割を職員全体で共有する。